商店街カルテ

大島中の橋商振組（江東区）

賑わい復活への思い

中小企業診断士　小貫　直之

都営地下鉄大島駅から新大橋通り沿いに歩いて3分、「サンロード中の橋」のアーチをくぐると、そこに北方向に続く中の橋商店街はある。

ハロウィンパレードの賑わい

1、商店街の概況

当商店街は、全長300㍍の生鮮品店を中心とした100店余りが軒を連ねる近隣型商店街であり、毎日夕方3時から夜8時までは歩行者天国となる。江東区内の商店街において1、2を争う高い加盟率、9割が地元資本店という文字通り地元に根ざした〝地域の台所〟となっている。近隣の小中学校12校より年約1000名を受け入れ、職業体験を実施しており地域と密着した商店街である。

周辺にはURが開発した公団住宅があり、人口は増加しておりニューファミリー層も多い。しかし来街者は徒歩、自転車で来ている60代以上の高齢者が中心で、ニューファミリー層は少数である。また半径300㍍圏内はイオングループ等大手スーパー5店舗に取り囲まれており、商業競争は厳しい状況になっている。

2、現状の課題

30年間続く伝統的なイベントである月1回の特売「ビックリ市」をはじめ、「サンバパレード」「近隣園児による鼓笛隊パレード」「ハロウィン」等大変ユニークなイベントに取り組んでいるが、商圏内で増加傾向にあるニューファミリー層は取り込めておらず、また昨年の大手ディスカウント店開店による影響は大きく集客・売上ともに減少傾向にある。もっと多くのお客様を呼べないか、もっと活気ある商店街にできないかが大きな課題である。

3、活性化に向けた取り組み

青年部の有志を中心に活性化委員会をつくり、「効果的なイベントの実施」等新しいことに取り組みたいと、毎週土曜日夜商店街事務所に集まって活動している。昨年は夏から年末にかけて「にぎわい補助金」を活用して、多くのイベントを実施し商店街のにぎわい復活に取り組んだ。

（1）スーパービックリ市の開催（毎月8日実施）

「ビックリ市」の規模を拡大して実施。チラシの大きさを2倍にして協力店数・特売商品数の大幅増加をはかるとともに、印刷部数を大幅に増やし、ニューファミリー層の多い地域に配布範囲を広げた。また抽選会も2回実施して計2000名を集客した。

（2）フリーマーケットの実施（毎月第2日曜日実施）

近年は日曜日閉店の店舗が多く閑散としているため、日曜日の活気をとりもどすため街路にて日曜日閉店の店舗前を活用してフリーマーケットを開催した。大道芸人2組が街路にて公演し盛り上げた。これにより久しぶりに日曜日に商店街の賑わいが戻り、来街者にも定着しつつある。

（3）ハロウィンイベント開催（10月末2日間開催）

1日目は地元コスプレスタジオとのコラボにより、300名のコスプレーヤーによる街路での撮影会を実施し、2日目は周辺住民による仮装パレードを実施し、参加者にはお菓子を配布し参加者全員を対象に抽選会を実施した。仮装パレードには1000名が参加し2日間で保護者合わせて合計3600名を集客した。ファミリー層が多く参加し来年も是非参加したいという要望が多かった。

当イベントにより、今まで利用の少なかったファミリー層や新規転入者への認知度が高まり、来街者の増加につながったとともに日曜日の活気を取り戻しつつある。活性化委員会のメンバーは当イベント終了後もこの賑わいを継続したいと、財源をやりくりしながらビックリ市を「月・中の市」として開催日を増やし、その最終日にフリーマーケットを開催、また新規にインターナショナル＆エコウェルカムイベントの開催等アグレッシブに活動している。

筆者も昨年の半年間は土曜日夜のミーティングに参加してイベントの支援をしてきた。活性化委員会メンバーは自店の商売終了後の疲れている中でも、商店街の活性化のために深夜まで打ち合わせ、イベントの準備を重ねており、その大変さを目の当たりにしてきた。そのため今後も引き続き、微力ながら当商店街の活性化に協力して、賑わいの創出に協力していきたいと考えている。

アーケードで縁日

パルム納涼市　店主らが33屋台を演出

「1円玉落とし」の屋台は、子供だけでなく大人からも人気を集める

今年も品川区の武蔵小山商店街振興組合（竹内友康理事長）では、8月5日、6日の午後4時～8時にかけて「パルム納涼市」を開催した。これは第38回目となる恒例イベントで、今年も七夕の飾りに彩られた全蓋アーケードの下、昔懐かしいさまざまな屋台が軒を連ねた。

同納涼市の特徴は、通り沿いに約33品目・33店舗展開されるすべての屋台が、商店街店主により提供されている点。普段の自らの店業種とは異なる屋台ながらも、各店主がエンターティナーとして〝腕前〟を披露。焼きそばやカキ氷、わた飴、輪投げ、金魚すくいをはじめ、水で満たした水槽の中の的をめがけて1円玉を落とすユニークな「1円玉落とし」まで、今年もたくさんの浴衣姿の地元の子供たちや家族連れなどが行き交っていた。

屋台で利用できる「納涼市50円券」は、イベント期間中に各店頭でお買い物をした方や、商店街のパルムポイント50ポイント分で2枚を提供。また、商店街パルム・クレジットカードの提示で先着500名に4枚をプレゼントしたほか、商店街ホームページにアクセスした方への限定特典として、ウェブ上の縁日マップを印字して商店街事務所へ持参した先着500名にも2枚を提供している。

お客様の支えで60年

八幡山商福会（振）理事長　小塚（こづか）千枝子（ちえこ）氏

京王線「八幡山」駅前に8月23日、八幡山商福会設立60周年記念の〝お誕生ケーキ〟が登場した（1面の写真記事参照）。会場では、地元市民が誇る著名店のメロン・ケーキ先着300名のほか、スタンプラリーでのビール、焼きとり、輪投げなどを無料提供。

「商店街が長くやってこられたのは地元のお客様の支えがあってこそ」。決意を新たにする小塚さんだ。

同記念企画の原資は、新規振興組合に年90万円を3カ年提供する区の補助金。街路灯新設を機とした振興組合化以降、地元飲食店が結束しての街バル、店主の顔を前面に出した商店街マップなど、「資金面の後押しを得ての各種新規事業で、商店街組織としての基盤固めができた」。7年前の会長就任以降、会員数も10店舗超増加との成果だ。

「女性に商店街会長が務まるのか？――と危惧する声も一部あった」とのトップ就任から7年。そんな危惧を吹っ切り周囲を味方とし得たのは、こうした新事業展開や加入促進などの実績があったからこそ。今回のプレミアム付き商品券事業では、地元京王ストアに何度も足を運んで取り扱いを機とした商店街加入を実現。区振連理事会や支援機関、専門家とも頻繁に情報交換して新事業案を続々と打ち出すなど、フットワークとネットワーク力が光る。

そんな男性顔負けのリーダーシップの一方で、高卒後勤めた有楽町そごうでは「会計担当で、あだ名は人間コンピューター」。そんなクールヘッド、そして女性ならではの陰ながらの気配りが、スムーズな組織運営を支えている。

6年間の百貨店勤務後、地元店主に見初められて八百屋のおかみさんとなって40余年。地域一番店にしようと夫婦で懸命に働いた日々を振り返りつつも、「今は商店街を盛り上げて地域へ恩返しをしていくのが私の役割」。熱いリーダーシップとクールなマネジメント力、双方を兼ね備えた女性リーダーの今後にもぜひ期待したい。

「小塚さんのお願いは断れない」とは周囲の評

ひと

防火安全へ連携

IMA専門店会が光が丘消防署と協定

商店街が地元消防署とがっちりスクラム

練馬区のIMA専門店会（井ケ田傳一会長）では8月27日に、地元の光が丘消防署と「地域の防火安全体制強化の推進に関する協定」（以下、連携協定）を締結した。締結式の会場となった光が丘消防署2階会議室では、消防署関係者や商店街役員らが見守るなか、井ケ田晋 商店街会長代行と松野祐司 光が丘消防署長が、「地域の防火安全体制強化の推進に関する協定書」に署名および調印。協定書には、①防火安全対策に係る情報提供②防火防災を目的とした各種訓練や防火診断の実施③「違反対象物の公表情報」の提供④商店街に存するテナントの変更情報についての情報交換――などが盛り込まれている。

今回の連携協定は、消防署が地域に幅広いネットワークを持つ商店街と連携することにより、「違反対象物の公表制度」の効果をより高め、地域の防火安全対策を強化しようというもの。同公表制度では、消防署が立入検査等で得た消防法令違反の建物やテナントなど「違反対象物」情報を、HPなどで広く公表している。地元消防署と商店街がこうした情報を共有することによって、会員店舗の自発的な防災安全対策への取り組みも期待されている。

接客に役立つ英会話

～下北沢一番街（振）テキストより～

Chapter 2 小売店編――③

申し訳ございませんが、現金のみのお取り扱いとなっています。
▶I,m afraid. Cash only please.
▶No cards, please.
▶We don,t accept any cards.
お釣りです。
▶Here is your change, sir/madam.
お持ち帰り用にお包みしましょうか？
▶Shall we wrap it to go?
（手渡しながら）こちらになります。
▶Here it is.
▶Here they are.
（手袋，パンツ，靴など複数扱）ジーンズ／パンツ／お買い上げ品をお楽しみ下さい。
▶Enjoy your jeans/pants/items.
（お客様の「ありがとう」に対してお店側が）どういたしまして。
▶My pleasure, sir/madam.
（送り出し時の標準的な表現）ありがとうございました。
▶Have a nice day/evening/night.
お越しいただきありがとうございます。
▶Thank you for shopping.
（買わずに帰るお客様には）
▶Thank you for visiting us.
▶Thank you for coming.
またお越しください。
▶See you again.
▶Please visit us again.
日本に来られたらまたお立ち寄り下さい。
▶Please visit us when you are in Japan.

東京都商店街ホームページへようこそ

http://www.toshinren.or.jp　まずクリックしてみてください

NEWS＆TOPICS

東京都などの行政からのお知らせや都内各商店街が行うイベントを月毎に紹介します。また東京都商店街振興組合連合会で毎月発行している商店街ニュースの記事も見ることができます。

ワクワク商店街アワー

ラジオ番組内の企画で、芸人の皆さんが東京のおもしろ商店街を探検してレポート内容を見ることができます。

商店街活動事例

商店街の活性化のためにソフト(イベント)やハード(施設)を充実させることに成功した商店街の活動を紹介しています。

商店街リンク

東京及び全国の商店街のホームページを見ることができるリンク集です。

商店街 2020 年ビジョン

会員向け情報

商店街振興組合を円滑に運営していくための情報を提供しています。